

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）

(実施期間：令和元～令和6年度)

実施機関：岡山大学（総括責任者：榎野 博史）

取組の概要

本学ではウーマン・テニユア・トラック（WTT）制、女性教員支援助成金制度（2015年度）、ポストアップ制度（2015年度）等を導入してきた。本事業では SHINE（Sustainable Healthy Innovation with Network & Empowerment）をコンセプトに女性研究者のポストアップ促進とその候補者層の研究力向上を図る。助教以上の女性教員には海外派遣支援等の研究支援を行い、成果を評価して上位職に登用する。若手研究者に対してはWTT Jr 制度を立ち上げ、ポスドク世代の女性に将来へのキャリアにつながる研究力向上のための支援、ならびに柔軟な研究体制の整備を行う。環境整備として、ダイバーシティ研究環境の実現に向けた意識改革のための研修、一時保育の拡充等を行う。また、研究者や家族同士のネットワークを形成し、研究者自身の健康と次世代育成について経験を共有し、持続可能な人材育成のサイクルを形成する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
S	s	s	a	a	a

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

(2) 評価コメント

学長のリーダーシップの下、女性上位職教員の育成を主眼とし、既存の「ウーマン・テニユア・トラック（WTT）制」や「女性教員特別昇任（ポストアップ）制度」に加え、女性上位職若手候補者層の充実を目指した「WTT Jr 制度」、十分な研究実績を有する女性研究者の指導力の向上、上位職への昇任を図る「ポストアップ plus 制度」等の戦略的な取組を新たに構築した。准教授2名が教授へ、助教5名が准教授へ昇任する成果が挙がっており、また、長らく女性教授が不在であった理学系及び農学系の部局で女性教授が誕生したことは高く評価できる。女性研究者を対象とした海外派遣支援、研究スキルアップ支援、「ピアサポート」等の実施により、女性研究者による外部研究資金獲得数が増加しており今後の展開が期待できる。

- ・**目標達成度**：6年間で10名以上の女性教員を上位職へ登用することを目標とする中、既に7名の昇任を進めており順調に目標を達成している。また、女性研究者の採用比率、外部研究資金獲得数、研究業績等の目標もすべて達成しており高く評価できる。
- ・**取組**：「WTT 制」を長期にわたり継続して実施するとともに、新たに創設したより若手の女性研究者を対象とする「WTT Jr 制度」に「キャリア支援枠」を設定し、育児等ライフイベント中の若手女性研究者の両立支援を図ったことは高く評価できる。また、女性研究者の研究力に対応させた「ポストアップ plus 制度型」と「研究力向上型」の2つのタイプを設定した海外派遣事業、「女性研究者のためのメンタープログラム」や「ダイバーシティよろず相談プログラム」といった女性研究者のメンタル面に配慮した特色ある取組は高く評価できる。

- **取組の成果**：女性研究者の上位職への登用に向けた取組がよく機能しており、上位職への7名の昇任、理学系及び農学系の部局における女性教授の登用、女性研究者の研究業績の向上といった成果が挙げられていることは評価できる。「WTT Jr 制度」の今後の成果を期待する。
- **実施体制**：学長のリーダーシップの下、学長直轄の「ダイバーシティ推進本部」に設置された「男女共同参画室」が事業の実施母体となり、関連部局を巻き込み、全学として取組を推進する体制が構築されており評価できる。
- **今後の進め方**：補助期間終了後も、自主経費を用いて「女性研究者海外派遣事業」や「WTT Jr 制度」等を継続して実施する計画であり評価できる。また、女性研究者支援等を目的とした基金を設立し、自主経費の確保を目指しており、取組の継続、発展が期待できる。今後は、これまでの先導的な取組を広く地域の他機関へ普及させることを期待する。